

所沢市公共施設長寿命化計画

令和3年度～令和32年度

(2021年度～2050年度)

令和3（2021）年3月

所 沢 市

目次

第1章 公共施設長寿命化計画について

1-1	策定の趣旨	1
1-2	計画の位置付け	1
1-3	対象施設	2
1-4	公共施設の現状	3
1-5	公共施設に関するアンケート調査等	5
1-6	配慮すべき社会情勢	9
1-7	計画期間	9

第2章 公共施設の長寿命化に関する基本的な方針

2-1	基本的な方針	10
2-2	ライフサイクルコストの縮減	10
2-3	計画的な総量の適正化	13

第3章 対策内容と実施時期

3-1	長寿命化ロードマップ	20
3-2	対策費用の試算	55

第4章 推進方針

4-1	計画的な人員と予算の確保	56
4-2	計画の推進	56

第1章 公共施設長寿命化計画について

1-1 策定の趣旨

所沢市の公共施設の多くは、昭和40年代後半から50年代に集中的に建設されており、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えます。一方で、市の財政状況は厳しく、人口減少による利用需要の変化が見込まれるなかでは、適切な維持管理により利用者の安全を確保するとともに、必要な機能や保持可能な施設総量を見極めながら、経営的な視点による公共施設等の管理（公共施設マネジメント）を進める必要があります。

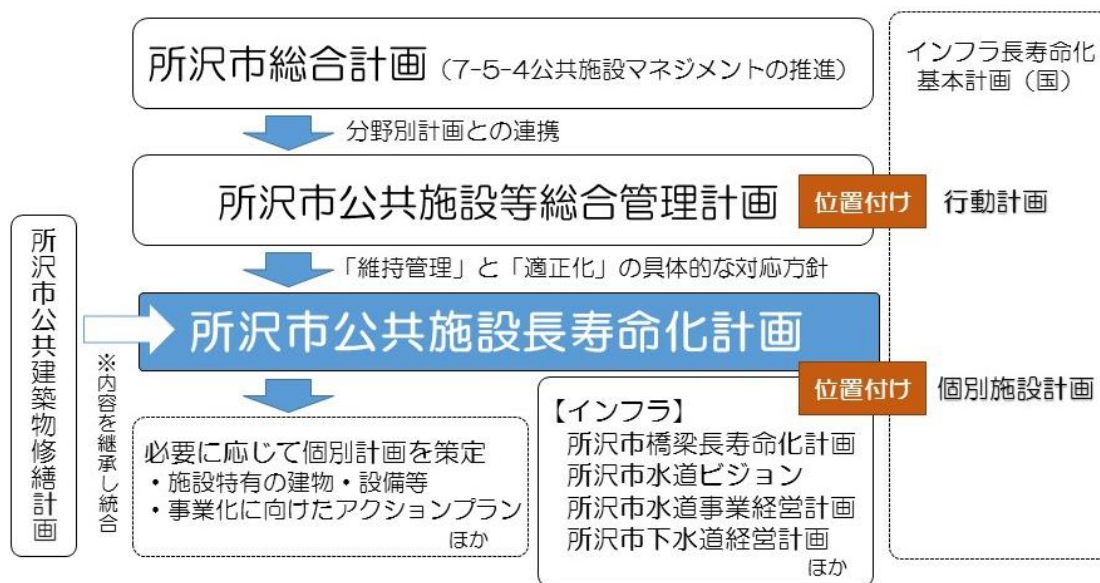
市では、平成28（2016）年3月に公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定める計画として、「所沢市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。「所沢市公共施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）は、建物の劣化状況や維持管理・更新等に係る中長期的な財政負担の見込みなどを踏まえ、総合管理計画に掲げた方針「ライフサイクルコストの縮減（維持管理）」と「施設総量の適正化（適正化）」を実現するための、具体的な対応方針等を定める計画です。

1-2 計画の位置付け

本計画は、「第6次所沢市総合計画」における分野別計画（7-5-4 公共施設マネジメントの推進）であり、総合管理計画に基づき、公共施設の維持管理と適正化に関する計画を合わせて策定するものです。

また、「インフラ長寿命化基本計画（平成25（2013）年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）」に定める「個別施設毎の長寿命化計画」に位置付けます（国から令和2（2020）年度までの策定要請）。

なお、平成18（2006）年に策定した「所沢市公共建築物修繕計画」は、内容を継承し、本計画へ統合します。



1-3 対象施設

本計画は、市が管理する全ての公共施設を対象とします。

【公共施設分類】

類型	主な施設
市民文化系施設	コミュニティセンター、コミュニティ会館、男女共同参画推進センター、ラーク所沢、市民文化センター、所沢駅東口市民ギャラリー
社会教育系施設	図書館、民俗資料館、埋蔵文化財調査センター、生涯学習推進センター、公民館（まちづくりセンター）
スポーツ施設	市民体育館、地区体育館、市民武道館、運動場
学校教育系施設	小学校、中学校、学校給食センター、教育センター
子育て支援施設	幼稚園、保育園、児童館、児童クラブ
保健・福祉施設	高齢者福祉施設（老人福祉センター、老人憩の家、老人ホーム亀鶴園、老人デイサービスセンター）、障害福祉施設（キャンパス、はばたき、きぼうの園、ゆきわり草、こあふる、所沢サン・アビリティーズ、プロペラ、松原学園、かしの木学園）、保健センター、こどもと福祉の未来館
病院施設	市民医療センター
行政系施設	市役所本庁舎、まちづくりセンター、市民課サービスコーナー
公営住宅	市営住宅
公園	都市公園（公園内の管理棟、トイレ等）、所沢カルチャーパーク
廃棄物処理施設	クリーンセンター、収集管理事務所、リサイクルふれあい館、衛生センター
その他	斎場、駐車場、自転車駐車場、消防団施設、倉庫等

※インフラ（道路、橋梁、上下水道）は、他の個別施設計画にて管理されています。

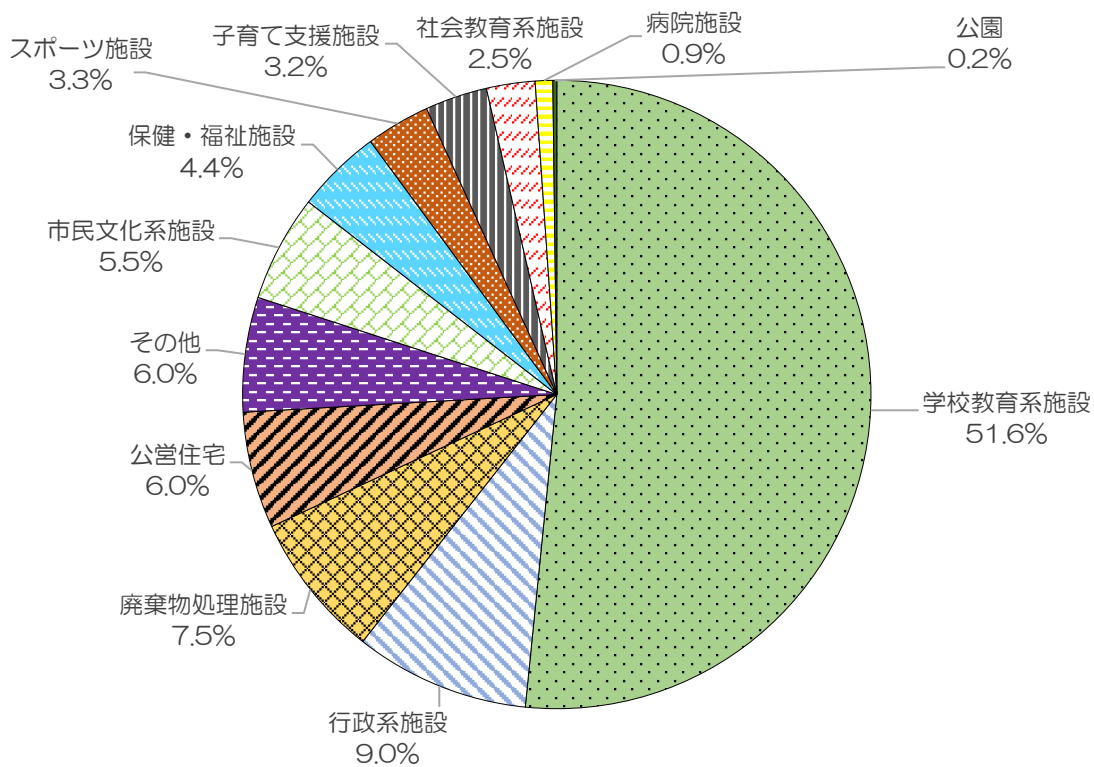
※本計画策定にあたり、総合管理計画から施設の整理を見直した。

1-4 公共施設の現状

(1) 建物数・延床面積

類型	建物数（棟）	延床面積（㎡）	面積割合（％）
市民文化系施設	10	39,205.26	5.5
社会教育系施設	25	18,220.76	2.5
スポーツ施設	16	23,386.70	3.3
学校教育系施設	574	369,632.35	51.6
子育て支援施設	69	23,184.34	3.2
保健・福祉施設	26	31,364.96	4.4
病院施設	2	6,568.06	0.9
行政系施設	19	64,552.62	9.0
公営住宅	45	43,176.12	6.0
公園	24	1,356.67	0.2
廃棄物処理施設	26	53,536.68	7.5
その他	140	42,751.44	6.0
合計	976	716,935.96	100

※公有財産台帳（令和2（2020）年3月31日現在）により算出。



(2) 平均築後年数・劣化の傾向

類型	平均築後年数	劣化の傾向
市民文化系施設	26.5年	外壁、屋上に劣化進行が見られる
社会教育系施設	30.1年	外壁、外部開口部に劣化進行が見られる
スポーツ施設	23.6年	外壁、外部開口部に劣化進行が見られる
学校教育系施設	37.4年	外壁、外部開口部、屋上に劣化進行が見られる
子育て支援施設	27.5年	外壁、外部開口部に劣化進行が見られる
保健・福祉施設	27.0年	外壁、外部開口部、屋上に劣化進行が見られる
病院施設	34.0年	外壁、外部開口部、屋上に劣化進行が見られる
行政系施設	25.7年	外壁、外部開口部、屋上に劣化進行が見られる
公営住宅	36.4年	他類型と比較して保全状態は良好
公園	38.7年	管理棟建物の外部開口部に劣化進行が見られる
廃棄物処理施設	15.5年	他類型と比較して保全状態は良好
その他	25.4年	-
合計平均	33.4年	-

※劣化の傾向は、令和元（2019）年度に実施した簡易劣化度調査による。

(3) 利用状況（広く市民等の利用に供する施設）

類型	施設種類	施設数	利用状況	
			利用者数（人）	稼働率（％）
市民文化系施設	集会施設	8	379,010	44.4
	文化施設	2	12,394	88.0
社会教育系施設	図書館	8	1,001,084	-
	文化財施設・生涯学習施設	5	55,288	-
スポーツ施設	体育館、運動場	11	698,701	67.1
子育て支援施設	幼稚園・保育園	20	1,997	86.7
	児童施設	43	695,543	126.6
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	15	313,489	92.9
	障害福祉施設	9	89,669	91.0
病院施設	病院	1	88,068	-
公営住宅	公営住宅	10	(入居者数) 1,226	89.6

※利用状況は、令和元（2019）年度の実績値。

なお、文化施設のうち「市民文化センター」については、改修工事期間にあたり、利用を停止していたため、数値に反映されていない。

※定員のない施設の稼働率は「-」と表示。

1-5 公共施設に関するアンケート調査

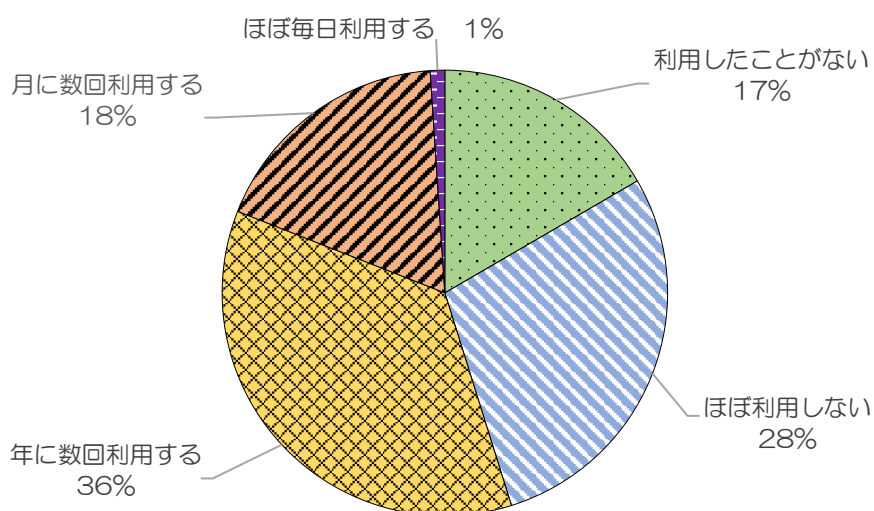
(1) アンケート結果

本計画を策定するにあたり、市民アンケート調査を実施しました。

タイトル	所沢市 公共施設に関するアンケート調査
対象者	市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為で選んだ2,000人
調査期間	令和元(2019)年11月1日~12月6日
方法	郵送・WEB調査
調査項目	ア 公共施設の利用状況 イ 公共施設を利用する際の移動・交通手段 ウ 所沢市の公共施設維持管理の取組の認知度 エ 公共施設の総量を適正化するための市としての取組 オ 公共施設の総量を適正化するために市民が重視すること カ その他自由意見
有効回答数 属性	有効回答数：663件/2,000件 (33.2%) 年齢構成：10代 4.7% 20代 15.3% 30代 20.7% 40代 22.4% 50代 20.1% 60代以上 16.9%

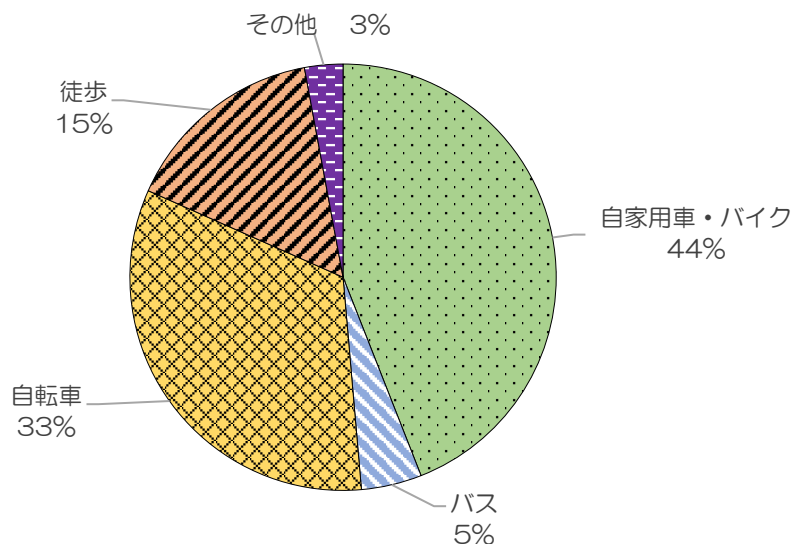
ア 公共施設の利用状況

公共施設の利用状況は、「ほぼ毎日利用する」、「月に数回利用する」、「年に数回利用する」が合わせて55%である一方、「ほぼ利用しない」「利用したことがない」の合計は45%であり、市民の利用状況に差があることが分かりました。



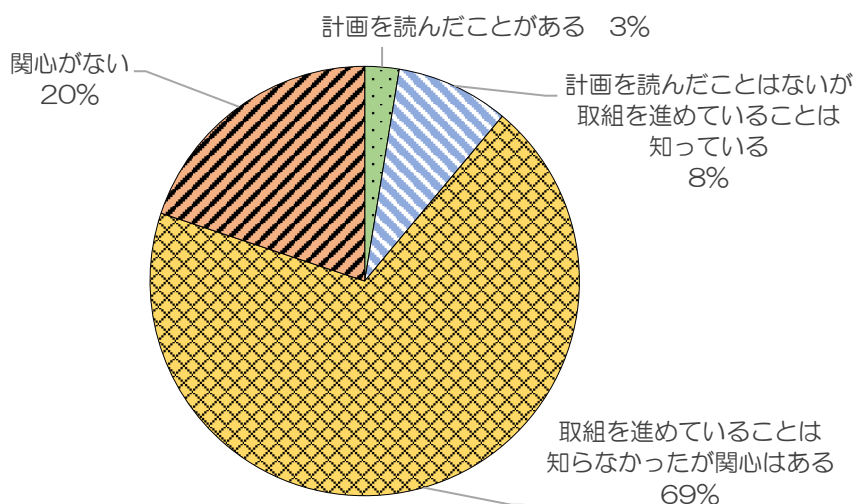
イ 公共施設を利用する際の移動・交通手段

公共施設を利用する際の移動・交通手段は、「自家用車・バイク」が44%、「自転車」が33%、「徒歩」が15%の順であり、多くの市民が必ずしも徒歩圏の公共施設のみを利用しているわけではないことがわかりました。



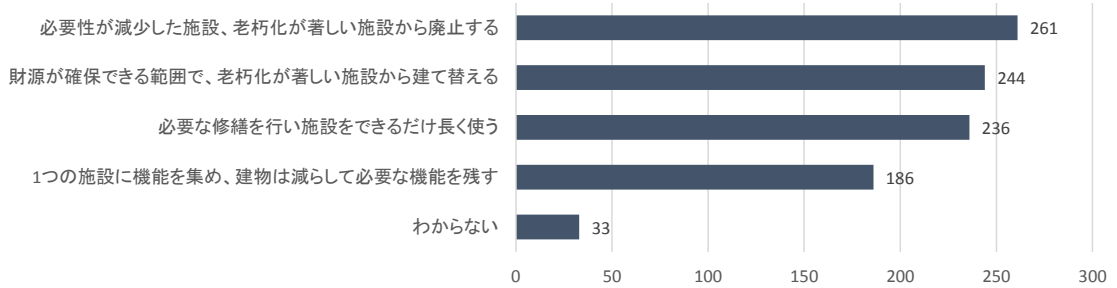
ウ 所沢市の公共施設維持管理の取組の認知度

市では、総合管理計画を策定し、公共施設の維持管理に取り組んでいます。アンケート調査結果では、「取組を知らなかったが関心はある」が69%を占め、今後、本計画の周知も含めた市民に理解を求める取組が必要であることがわかりました。



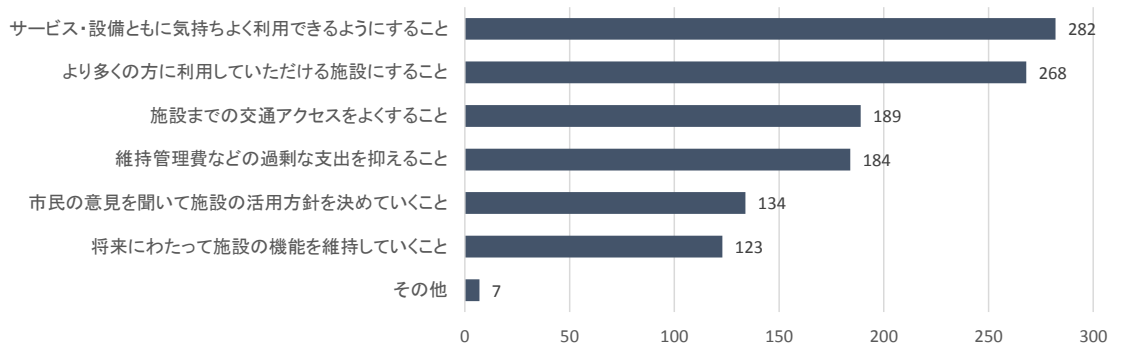
エ 公共施設の総量を適正化するための市としての取組

公共施設の総量を適正化するために市が取り組むべきこととして、必要性が減少した施設の廃止や老朽化が著しい施設の建て替え、修繕による長寿命化を求めていることが分かりました。



オ 公共施設の総量を適正化するために市民が重視すること

公共施設の総量を適正化するために、サービス・設備ともに気持ちよく利用できること、より多くの市民が利用できるようにすることを重視していることが分かりました。



カ その他の自由意見

その他の自由意見として256件の回答がありました。各種施設の設置希望や体育施設・集会施設の利用ルールに関する要望などもありましたが、多くは、既存施設の有効活用のためのアイデアや普及活動への意見、複合化・総量の適正化に対する意見が寄せられました。

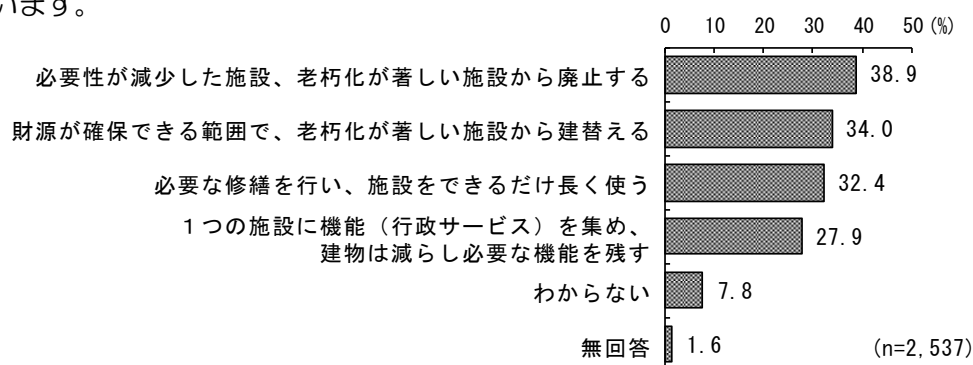
(2) 令和2年度版所沢市市民意識調査

本調査において、「公共施設の適正化で望ましい対応」について伺いました。

タイトル	令和2年度版所沢市市民意識調査
対象者	市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為で選んだ5,000人
調査期間	令和2(2020)年7月17日～8月14日
方法	郵送・WEB調査
有効回答数	有効回答数：2,537件/5,000件 (50.7%)
属性	年齢構成：10代～20代 7.0% 30代 10.3% 40代 16.4% 50代 17.3% 60代 16.4% 70代以上 30.3%

問 必要な施設や機能をいつまでも安定的に提供していくために公共施設の総量を適正化していく必要があります。所沢市が行う対応で望ましいものはどれですか。(〇は2つまで)

公共施設の適正化で望ましいと考える市の対応について、「必要性が減少した施設、老朽化が著しい施設から廃止する」をあげた人が38.9%と最も多く、以下「財源が確保できる範囲で、老朽化が著しい施設から建替える」(34.0%)、「必要な修繕を行い、施設をできるだけ長く使う」(32.4%)などの順となっています。



※令和2年度版所沢市市民意識調査報告書より抜粋

(3) アンケート等の結果から

- 行政区や学校区を意識して公共施設の再編を検討します。
- 引き続き、公共施設マネジメントの周知に努めます。
- 必要な機能は残しながら、施設総量の適正化を検討します。
- 施設を安全で快適に利用いただくため、老朽化が進んだ施設の改修手法（社会の要求水準に見合った改修）を検討します。

1-6 配慮すべき社会情勢

本計画は、総合管理計画を踏まえながら、社会情勢の変化（防災・減災、人口構造の変化、環境保全、感染症対策、情報技術の発展、ユニバーサルデザイン等）や国、県等の動向及び関連計画との整合に配慮しながら、取組を進めます。

1-7 計画期間

計画期間は、令和3（2021）年度から令和32（2050）年度までの30年間とし、10年を単位とした3期により構成します。

所沢市公共施設長寿命化計画（30年計画）		
第Ⅰ期（10年間）	第Ⅱ期（10年間）	第Ⅲ期（10年間）
令和3年度～令和12年度 （2021～2030年度）	令和13年度～令和22年度 （2031年度～2040年度）	令和23年度～令和32年度 （2041年度～2050年度）

漫画で紹介！～未来へつなぐ！みんなで考える公共施設マネジメント～

公共施設マネジメントは、将来にわたって考えていく取組です。

若い世代の方にも、一緒に考えていただくため、広報とこざわ令和2年2月号では漫画を活用した特集を行いました。



第2章 公共施設の長寿命化に関する基本的な方針

2-1 基本的な方針

「公共施設マネジメント」は、短い期間で一気に進むものではありません。長期的な展望に立って、着実に取組を進めていく必要があります。

本計画では、公共施設の長寿命化に向けて、「ライフサイクルコストの縮減（維持管理）」と「計画的な総量の適正化（適正化）」を基本的な方針に掲げます。

◆参考：「総合管理計画 基本的な考え方」より一部抜粋

- 人口減少や財政状況などから、公共施設の総量を適正化します
 - 市民ニーズの変化を踏まえながら、保持可能な公共施設の総量や水準を見極め、施設の集約化や複合化、用途変更、廃止等について検討します。
 - 施設の集約化・複合化等に向けては、費用対効果だけでなく、施設の利用状況や維持管理費用などに加え、地域における必要性や施設価値の向上などについても総合的に検討します。
 - 検討にあたっては、市民の意見を聴きながら、各施設の集約化・複合化等に関する優先順位や基準を設定します。
- 適正管理に関する考え方
 - 事後保全的な維持管理から、予防保全的な維持管理に移行します。
 - 点検・診断等の結果を適切に管理・活用し、個別施設計画に基づく、修繕・大規模改修等を行うことにより、長寿命化を図ります。
 - 利用状況や近隣施設との機能重複などの状況を検証し、集約化等の実施を検討します。

2-2 ライフサイクルコストの縮減

(1) 基本的な考え方～計画的な管理～

建物を建設してから解体・撤去するまでの費用（ライフサイクルコスト）は、一般的には建設費の3倍から4倍になるとも言われます。

建物を計画的に管理することで、維持管理費用を平準化し、短命での更新を避け、できるだけ長く安全に有効活用することにより、ライフサイクルコストの縮減を図ります。



(2) 目標使用年数

建物の構造種別に応じて、目標使用年数を設定します。

構造種別		目標使用年数
I 類	① 鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造 ・新耐震基準による施設 ・旧耐震基準による施設（コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 超過） ② 鉄骨造	80 年以上
II 類	① 鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造 ・旧耐震基準による施設（コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 以下） ② 軽量鉄骨造、コンクリートブロック造、木造	60 年以上

※新耐震基準…昭和 56(1981)年 6 月 1 日建築基準法施行令の改正により施行。

※目標使用年数は「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」及び「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）」等を参考に設定。

※種別は、耐震改修工事の実施の有無や調査結果等に応じて変更。

◆参考：目標使用年数と法定耐用年数

建物や設備には、減価償却費を算出するために税法で定められた法定耐用年数が定められていますが、この年数は必ずしも建物の寿命年数と一致するわけではありません。そのため、本計画では、建物や設備の寿命年数により近いと考えられる「目標使用年数」を設定し、計画策定の基準として用いることとします。

(3) 維持管理の手法

建物の維持管理は、「予防保全」「長寿命化改修」「事後保全」に区分して行います。

維持管理の手法の選択は、下表の考え方に基づき行いますが、劣化状況や適正化手法（15 ページ参照）の実施時期等を考慮し、「劣化が著しい」「更新等の実施時期が近い」など、十分な費用対効果が見込まれない場合は、必要最低限の改修にとどめる、または予防保全や長寿命化改修を行わず、事後保全による維持管理を行うものとしします。

なお、公共施設に求められる整備水準等は、社会情勢の変化（防災・減災、人口構造の変化、環境保全、感染症対策、情報技術の発展、ユニバーサルデザイン等）が想定されることから、具体的な実施の内容は、社会的な要請を踏まえながら検討を行います。

区分	考え方	対象部位	対象施設
予防保全	耐用年数の到来や点検結果・劣化調査等に基づき、支障をきたす状態となる前に対象部位の修繕・交換等を行うことで、性能・機能を実用上支障のない状態まで回復させる。	劣化進行や施設運営への影響度が大きい部位。(屋上・屋根、外壁、ポンプ水槽類、空調換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備等)	原則、延べ床面積が300㎡以上の建物を有する施設。(300㎡未満の児童クラブ等を含む) ※その他、施設の特性等により判断。
長寿命化改修	建物を目標使用年数まで使用するため、建物全体を社会的要求水準に見合う機能に改修する。また、同時期に実施予定の予防保全対象部位やその他修繕・交換の実施も検討する。	建物の劣化状況や特性に応じて判断する。 (給排水管設備、内装、省エネ設備、バリアフリー化、防災・防犯機能など)	
事後保全	故障、損傷、早急な対応が必要な劣化の発生後に部分的な修繕・交換等を行うことで、劣化が深刻化する前に不具合を解消する。	事象が発生した部位及び施設運営への影響度が比較的小さい部位。	全ての施設

(4) 維持管理手法の選択

①予防保全

部位の耐用年数を基本として、法定点検や施設管理者による日常点検の結果などを考慮し、建物の状態に応じた適切な修繕等を実施します。実施にあたっては、公共施設マネジメントシステムを活用し、3か年の短期計画を運用します。

なお、施設特有の建物や設備は、必要に応じて別途計画等を策定し、予防保全を実施します。

②長寿命化改修

施設の劣化状況や特性、適正化手法の検討状況に応じて、実施の要否や実施時期、改修内容等を決定します。原則、築40年～60年（Ⅱ類は築30年～40年）時点

での実施を目安としますが、複合化等の実施時期までの残存使用期間や国、県等からの財源を踏まえ、総合的に判断します。

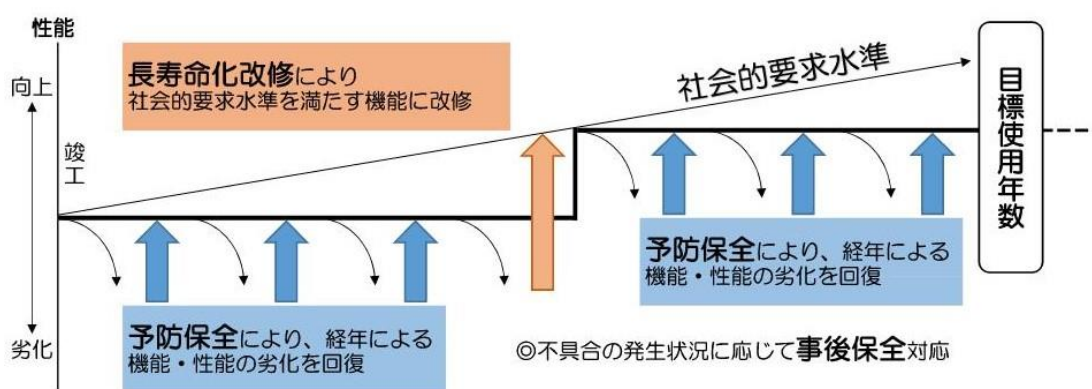
また、必要に応じて施設類型毎等に別途計画等を策定します。

※長寿命化改修は、総合管理計画における「大規模改修」に含まれます。

③事後保全

日常点検等により、施設の安全確保や美観維持、故障防止及び修繕が必要な不具合箇所の把握に努め、状況に応じた修繕等を実施します。

【維持管理のイメージ】



2-3 計画的な総量の適正化

(1) 基本的な考え方～人が出会い、集い、交流する公共施設～

人口減少に応じた単なる施設規模の縮小にとどまることなく、誰もが安心して暮らし続けることができ、様々な交流が生まれるような公共施設を整備し、未来を担う子どもたちに魅力あるまちを引き継いでいくことを目指します。

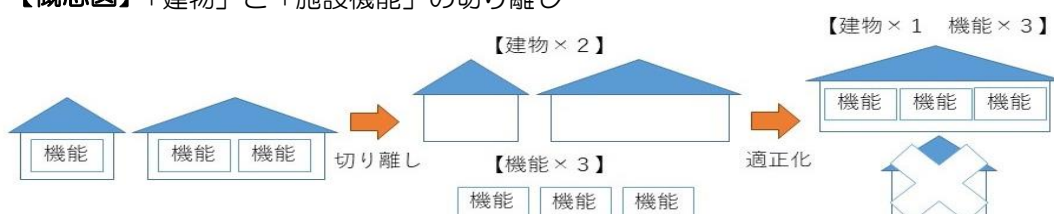


(2) 必要な施設機能の維持

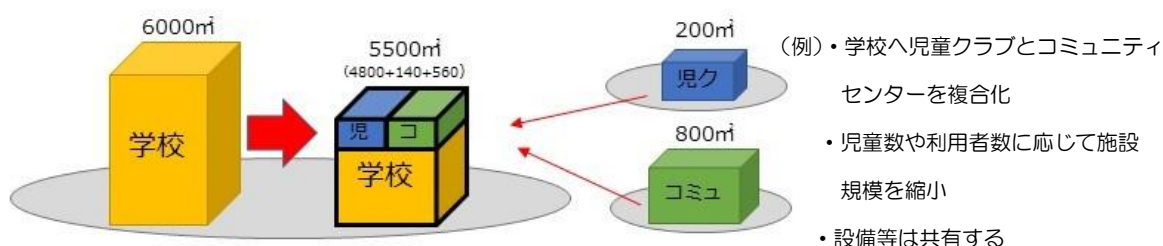
必要な施設機能を維持しながら、公共施設の建物の数や総面積を計画的に減らし、安定的に保持していくことができる総量に適正化していきます。

- 「建物」＝「施設機能」という考え方から、「施設機能」を重視した考え方に転換します。
- 施設機能の質を低下させることなく、総量の適正化を進めるため、「建物」と「施設機能」を切り離して考えます。
- 必要な「施設機能」を維持しつつ「建物」を減らします。

【概念図】「建物」と「施設機能」の切り離し



【具体例】施設機能を残しながら建物数と規模を縮小



京都御池中学校（京都市）～先進事例から～



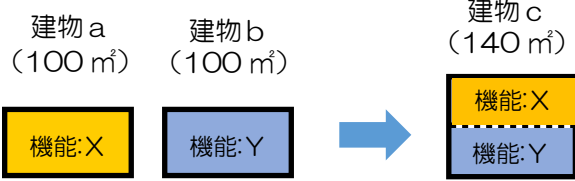

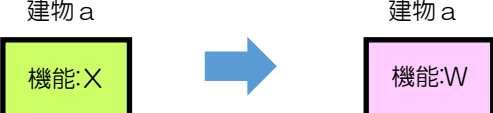
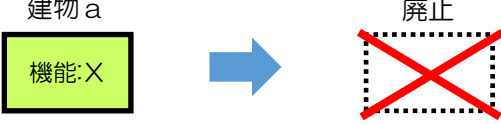
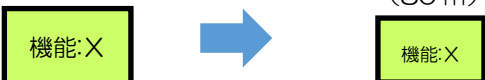
京都市の京都御池中学校では、市民ニーズの高い機能の維持と街路の賑わい創出を目的として、保育園、高齢者福祉施設（デイサービスセンター）、研修センター、商業施設等を複合化しています。建物を一体的に整備するにあたっては、機能ごとに出入口や動線を分けるなど、利用者の安全とセキュリティに配慮したづくりを採用しています。

また、単に複数の機能が同居するばかりでなく、高齢者福祉施設の利用者と中学生が文化祭で一緒にダンスを踊ったり、保育園の園児と中学生が作品を共同制作したりするなど、同じ建物の繋がりを生かした連携を図っています。

(3) 適正化手法

保持可能な公共施設の総量や水準を見極めながら「複合化」「集約化」「用途変更」「廃止」等を検討します。

なお、総量適正化の基本的な考え方を踏まえ、検討は「複合化」を基本に行います。

手法の種類とイメージ	効果
<p>複合化…機能の異なる施設を同一の建物内に配置します。</p> <p>建物 a (100 m²) 建物 b (100 m²) → 建物 c (140 m²)</p> 	<p>複合化によって共用部分を中心に削減が可能であり、維持管理費用や更新費用等の削減が見込まれます。</p> <p>交通利便性の高い施設に複合化した場合には、利用者のアクセスが向上し利用率の向上につながる場合があります。維持管理の効率化も期待できます。</p>
<p>集約化…機能が同じ施設を一つの箇所にまとめます。</p> <p>建物 a (100 m²) 建物 b (100 m²) → 建物 c (140 m²)</p> 	<p>集約化により、維持管理費用、更新費用等の削減が見込まれます。</p> <p>施設が供給過剰な場合や、稼働率等を勘案して運営を効率化する場合に有効な手法です。</p>
<p>用途変更…施設の位置や延床面積を引き継いで、機能のみを変更します。</p> <p>建物 a (機能:X) → 建物 a (機能:W)</p> 	<p>既存の建物を活用しながら、新たなサービス需要に応えることができます。用途変更によって設備や内装が変更することがありますが、原則として、延床面積は減少しません。</p>
<p>廃止…対象施設を廃止し、建物を解体撤去します。</p> <p>建物 a (機能:X) → 廃止</p> 	<p>廃止した施設分について、施設数と延床面積が減少します。</p> <p>廃止後の建物・土地は、原則解体撤去・売却します。また、民間事業者にも所有権が移転されサービスが継続される場合もあります。</p>
<p>単独更新…対象施設を単独で更新する場合も、利用需要等を考慮のうえ、原則施設規模を縮小します。</p> <p>建物 a (100 m²) → 建物 a (80 m²)</p> 	<p>施設の特長や位置、時期等により単独で更新せざるを得ない場合、適正な規模及び機能とすることで、維持管理費用、更新費用等の縮減が見込まれます。</p>

※主な手法を示したものです。

①複合化

複数の施設機能を組み合わせることで、機能集約による利便性向上、避難場所、コミュニティ活動の活性化、多世代交流の促進、地域の見守りによる児童生徒の安全確保など、様々な効果が期待できます。

また、トイレやエントランスなどを共有することにより、施設の省スペース化が見込めるため、複合化は「必要な施設機能を維持しながら、公共施設の建物の数や総面積を計画的に減らしていく」ための有効な手法の一つです。

【学校を中心とした「多機能・交流型施設」の整備】

複合化を検討するにあたり、敷地面積や建物規模がより大きい施設へ、相対的に小さい施設を統合することが合理的です。

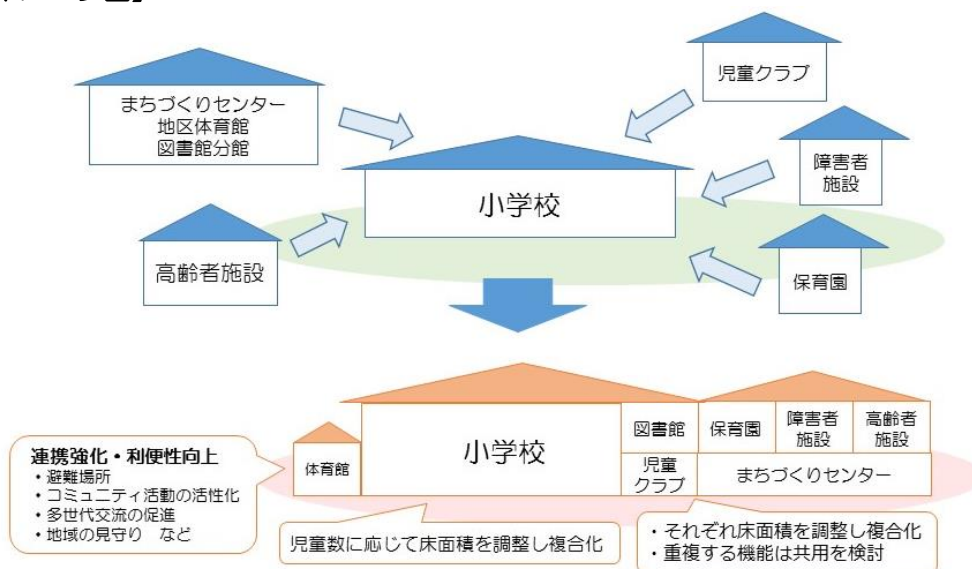
そこで、地域にとって身近な施設であり、敷地も広く、複合化がしやすい学校を中心とし、学校の更新時期を捉え、地域施設（行政区や学校区での利用を基本単位とする施設機能）を中心に複合化した「多機能・交流型施設」の整備を検討します。

- 学校は地域にとって身近な施設であり、避難所にも指定されている。
- 徒歩・自転車圏内に施設機能を集中できる。
- 学校は敷地が広く、多機能の複合化がしやすい。
- 他の施設類型と比較して建築後年数が経過しており、先に更新が予定される。
- 点検・修繕の一元化、設備等の共有により維持管理が効率化できる。
- 複合化にあたっては、児童・生徒の安全に配慮したセキュリティ対策をはじめ、施設内外への騒音の影響や、機能ごとの動線・使用時間帯の区分等、様々な観点から検討をおこなう必要がある。

※学校の更新と時期が合わない、学校等との複合化になじまない等、学校との複合化が難しい施設は、別施設との複合化やその他の手法等を検討します。



【イメージ図】



- まちづくりセンターは、地域の拠点施設であり、既に複合的な機能を有し、施設規模も比較的大きいことから、複合化先となることを含め、機能や立地、利用状況などから、総合的に整備の検討を行います。
- 複合化は、本計画のねらいであるコストの縮減目的を達成するための方法の一つであり、本計画策定により、これが拘束されるものではありません。

【施設の利用単位】

種別	説明
広域施設	市全体での利用を基本単位とする施設等 ⇒複合化先となることを含め、適正化手法を検討 (例) 男女共同参画推進センター、ラーク所沢、市民文化センター、生涯学習推進センター、市民体育館、保健センター、市民医療センター、クリーンセンター 等
地域施設	行政区や学校区内での利用を基本単位とする施設等 ⇒学校への複合化を基本に適正化手法を検討 (例) コミュニティセンター、図書館、地区体育館、学校、保育園、児童館、児童クラブ、高齢者福祉施設、障害福祉施設、まちづくりセンター、市民課サービスコーナー 等

②集約化・用途変更・廃止

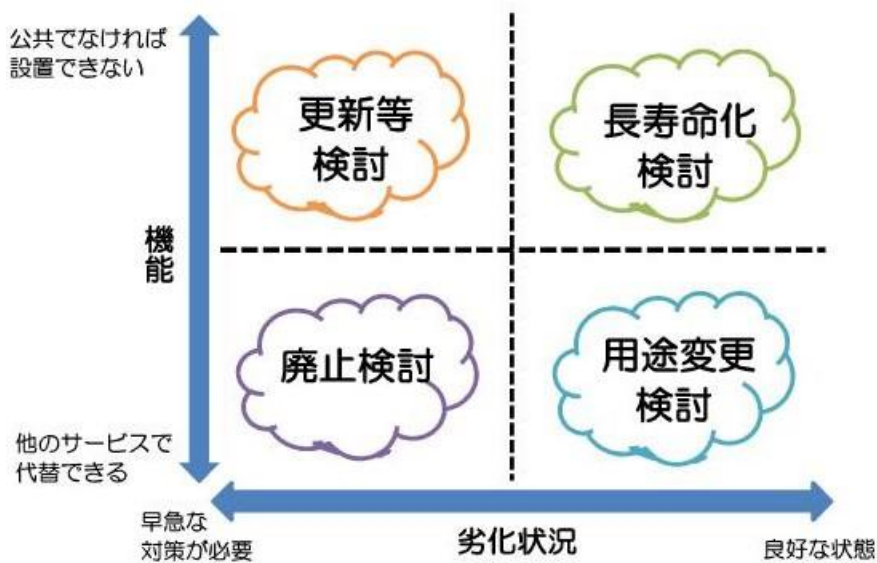
劣化が著しい施設や利用の少ない施設は、その原因を十分に検証し、結果、市民ニーズに合わなくなった施設や役割を終えたと判断できる場合は、集約化・用途変更・廃止を検討します。

(4) 適正化手法の選択

適正化手法の選択は、総合管理計画第4章に掲げた「施設類型毎の管理に関する方針」を踏まえ、市の財政状況や利用需要を考慮のうえ、市民のご意見を伺いながら、「1次判定」、「2次判定」、「総合判定」の3段階により検討します。

① 1次判定（簡易判定）

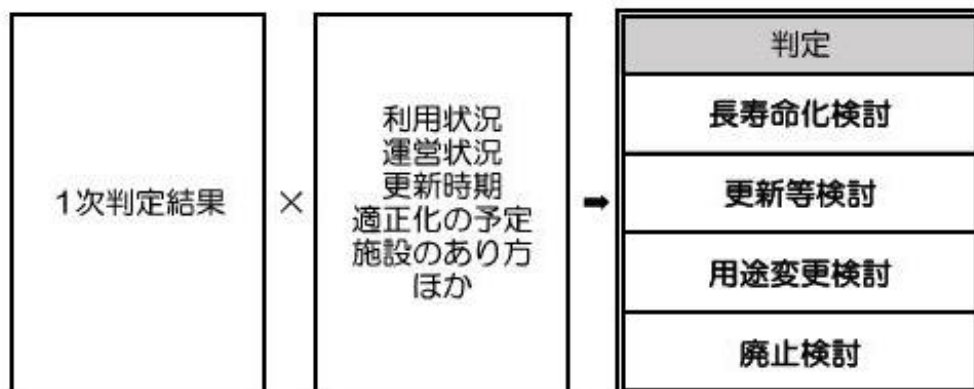
1次判定は、建物の劣化状況と、施設機能の公共性（公共でなければ設置できない機能か、他のサービスで代替可能な機能か）を指す「機能」の2つの観点から、「長寿命化検討（建物を継続して使用）」、「更新等検討（更新・複合化・集約化等）」、「用途変更検討」、「廃止検討」を判定します。



② 2次判定（利用状況等判定）

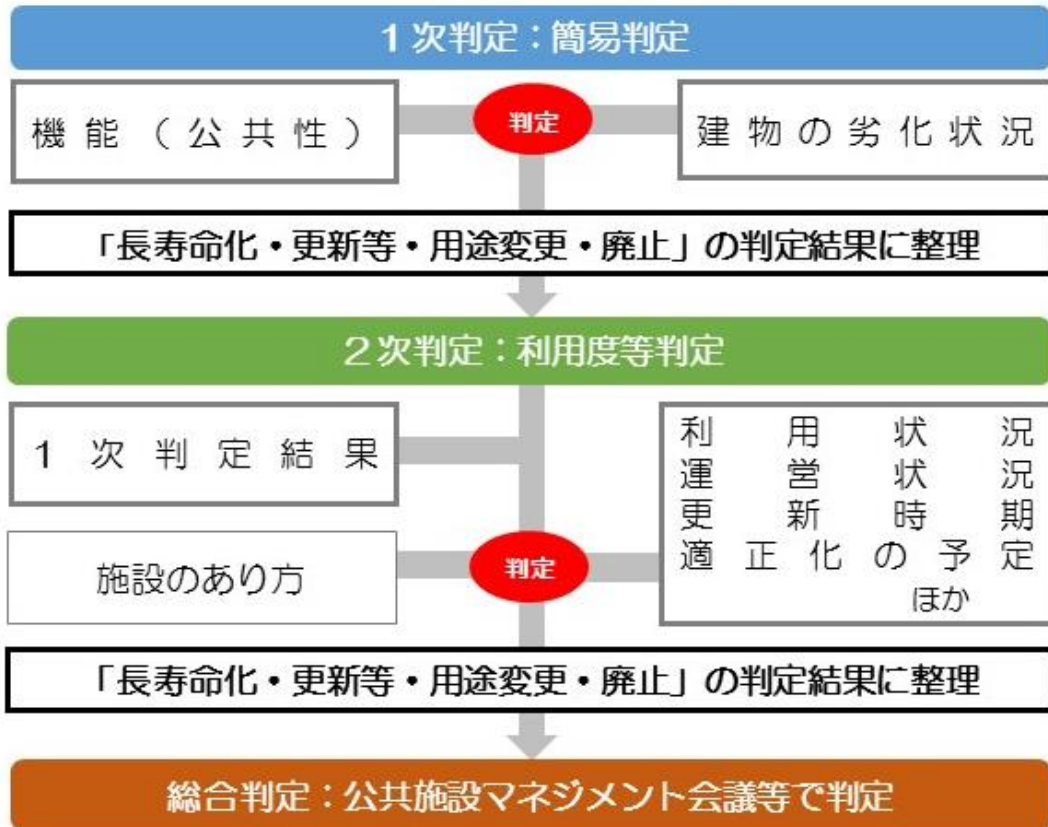
1次判定の結果を基に、利用状況や運営状況、更新時期、適正化の予定等の観点を加え、より詳細な判定を行います。

また、施設所管部門と管理部門とで、施設のあり方について検討を行います。



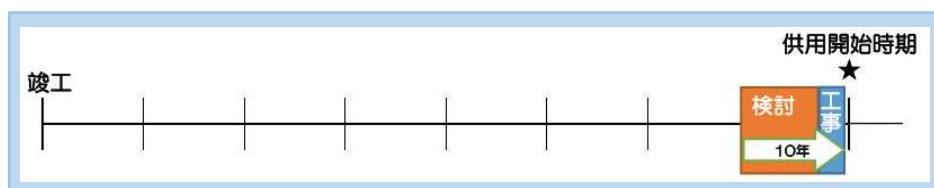
③総合判定

2次判定の結果を基に「公共施設マネジメント会議」等で適正化手法を検討します。



(5) 検討の実施時期

①複合化（学校更新）予定施設は、供用開始時期の概ね 10 年前から検討を行います。



②長寿命化改修予定施設は、工事予定時期の概ね 5 年前から検討を行います。



③その他、必要に応じて検討を行います。

(例：目標使用年数、劣化の状況、市民ニーズの変化等)

第3章 対策内容と実施時期

ロードマップは各施設の対策実施の目安を表示しています。事業化にあたっては、個々の状況を踏まえ検討をおこなう（19ページ参照）ものであり、決定事項ではありません。

3-1 長寿命化ロードマップ

本計画では前章までの考え方にに基づき、計画期間 30 年間における各施設の取組（「予防保全」「長寿命化」「複合化」）の方向性を類型毎に整理しました。

※広く市民等の利用に供する施設（原則、延床面積 300 m²以上）のみ表示しています。

【長寿命化ロードマップの見方】

(1) 施設名	(2) 建築 年度	(3) 構造 種別	(4)			
			I 期 (2021~2030)	II 期 (2031~2040)	III 期 (2041~2050)	2051年以降
〇〇小学校	1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（〇〇センター、〇〇保育園）

(1) 施設名 施設名を表示しています。

(2) 建築年度 施設の主たる建物のうち最も古い建築年度を表示しています。

(3) 構造種別 I 類・II 類の種別を表示しています。

(4) 取組の方向性（I 期～III 期、令和 33（2051）年度以降）

①予防保全 I 期に対象となる部位を表示しています。

⇒実施時期や部位は、3 か年の「短期予防保全計画」を運用し決定します。

②長寿命化改修

・建築年度からの経過年数に応じた時期を表示しています。（I 類：60 年、II 類：40 年）

⇒2-3（4）「適正化手法の選択」に基づき、実施を判断します。

・実施時期、改修内容等は、施設の劣化状況や特性、適正化の検討状況に応じて

決定します（時期を示すため、複合化を予定している施設も表示しています）。

③複合化

・複合化の考え方（16 ページ参照）に基づき、複合化の目安となる時期を表示しています。

・括弧内には、複合化の対象として優先的に検討する地域施設（17 ページ参照）を表示しています。（複合化先は保育園、児童クラブ等との親和性を鑑み小学校を表示しています。また、近隣の中学校には同時期検討を行う旨を表示しています。）

・表示のない施設についても、長寿命化改修または目標使用年数（I 類：80 年、II 類：60 年）を迎える時期に、複合化の検討を実施します。

※このほか、目標使用年数を迎える施設は「★目標使用年数」と表示しています。

◆参考：対策費用の試算（55 ページ参照）

・国の作成指針により、計画期間 30 年間における施設毎の取組に応じて、対策費用を試算する必要があります。

・そのためには、施設毎に時系列で、改築や修繕等の実施時期やこれらに係る概算費用を算出し、集計する作業が必要です。

(1) 市民文化系施設

①集会施設

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
狭山ヶ丘コミュニティセンター	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若狭小学校）	
新所沢コミュニティセンター	S62 1987	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（清進小学校）		
椿峰コミュニティ会館	S56 1981	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰小学校）
椿峰コミュニティ会館別館	S56 1981	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰小学校）
中富南コミュニティセンター	H7 1995	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ③複合化（中富小学校）
市民活動支援センター （新所沢コミュニティセンター）	S62 1987	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（清進小学校）		

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
男女共同参画推進センター	H6 1994	I類	区分所有施設（事後保全）			
ラーク所沢	S62 1987	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数

②文化施設

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢市民文化センター	H5 1993	I類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数

(2) 社会教育系施設

①図書館

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢図書館本館	S55 1980	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備、受変電設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数
所沢図書館所沢分館	H21 2009	I類	区分所有施設（事後保全）		③複合化（所沢小学校）	
所沢図書館吾妻分館 （吾妻まちづくりセンター）	S63 1988	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（荒幡小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢図書館椿峰分館	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰小学校）
所沢図書館狭山ヶ丘分館 （狭山ヶ丘コミュニティセンター）	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若狭小学校）	
所沢図書館富岡分館 （富岡まちづくりセンター）	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		③複合化（富岡小学校）	
所沢図書館柳瀬分館 （柳瀬まちづくりセンター）	H3 1991	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ③複合化（柳瀬小学校）
所沢図書館新所沢分館 （新所沢まちづくりセンター）	H23 2011	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備）			②長寿命化改修 ③複合化（北小学校）
松井小学校図書館 （松井小学校）	H16 2004	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ③複合化（松井小学校）

②文化施設・生涯学習施設等

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
中富民俗資料館	S55 1980	II 類	①予防保全（空調・換気 設備、受変電設備） ②長寿命化改修	★目標使用年数		
柳瀬民俗資料館	S59 1984	II 類	①予防保全（外壁、受変 電設備） ②長寿命化改修		★目標使用年数	
山口民俗資料館	S48 1973	I 類	①予防保全（外壁、空 調・換気設備、受変電設 備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数
埋蔵文化財調査センター	H5 1993	I 類	①予防保全（屋上・屋 根、外壁、ポンプ・水槽 類、空調・換気設備、受 変電設備、非常放送設 備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
生涯学習推進センター	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋 根、外壁、ポンプ・水槽 類、空調・換気設備、受 変電設備、非常放送設 備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
若狭保管庫	S52 1977	I 類	①予防保全（屋上・屋 根、外壁）	②長寿命化改修		★目標使用年数

(3) スポーツ施設

施設名	建築年度	構造種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢市民体育館	H15 2003	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
富岡地区体育館	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁）		③複合化（富岡小学校）	
新所沢地区体育館	H1 1989	I 類	①予防保全（外壁）		②長寿命化改修	③複合化（北小学校）
小手指地区体育館	H1 1989	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁）		③複合化（小手指小学校）	
柳瀬地区体育館	H5 1993	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁）			②長寿命化改修 ③複合化（柳瀬小学校）
三ヶ島地区体育館	H6 1994	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁）	③複合化（三ヶ島小学校）		
市民武道館	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数

(4) 学校教育系施設

①学校

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢小学校	S45 1970	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（図書館所沢分館、所沢保育園、所沢児童クラブ、第二所沢児童クラブ、所沢まちづくりセンター）	
南小学校	S42 1967	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（吾妻保育園、つばめ児童館） ◎同時期に検討（南陵中学校）	
北秋津小学校	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			③複合化（北秋津保育園、北秋津児童クラブ）
荒幡小学校	S56 1981	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（図書館吾妻分館、荒幡児童クラブ、あづま荘、吾妻まちづくりセンター）
北小学校	H8 1996	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（新所沢地区体育館、図書館新所沢分館、新所沢保育園、みどり児童館、新所沢まちづくりセンター）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
清進小学校	S43 1968	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（新所沢コミュニティセンター、市民活動支援センター、みどり児童館別館、緑寿荘）		
明峰小学校	S41 1966	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（ひばり児童館、明峰児童クラブ、ところ荘）		
伸栄小学校	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（伸栄児童クラブ、とめの里）	
美原小学校	S49 1974	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			③複合化（北所沢保育園、美原児童クラブ、第二美原児童クラブ、新所沢東まちづくりセンター） ◎同時期に検討（美原中学校）
並木小学校	S54 1979	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（並木保育園、並木児童クラブ） ◎同時期に検討（中央中学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
中央小学校	S54 1979	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（中新井保育園、さくら児童館、並木まちづくりセンター）
松井小学校	H16 2004	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（所沢サン・アピリティーズ、松井小学校図書館、まつば児童館、松井児童クラブ、松井まちづくりセンター）
若松小学校	S44 1969	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化）（松井保育園、若松児童クラブ、きぼうの園、はばたき）	
安松小学校	S49 1974	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			③複合化（安松児童クラブ）
和田小学校	H6 1994	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（松郷保育園、和田児童クラブ） ④同時期に検討（安松中学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
牛沼小学校	S54 1979	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			③複合化（西新井保育園、牛沼児童クラブ、うしぬま荘） ◎同時期に検討（東中学校）
柳瀬小学校	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			③複合化（柳瀬地区体育館、図書館柳瀬分館、やなぎ児童館、プロペラ、やなせ荘、柳瀬まちづくりセンター） ◎同時期に検討（柳瀬中学校）
東所沢小学校	H1 1989	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（柳瀬保育園、東所沢柳瀬児童クラブ、第二東所沢柳瀬児童クラブ）
富岡小学校	S40 1965	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		③複合化（富岡地区体育館、図書館富岡分館、富岡保育園、富岡児童クラブ、キャンパス、とみおか荘、富岡まちづくりセンター） ◎同時期に検討（富岡中学校）	
西富小学校	S41 1966	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（西富児童クラブ） ◎同時期に検討（向陽中学校）		

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
中富小学校	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			③複合化（中富南コミュニティセンター、ひかり児童館、中富小児童クラブ、松原学園、かしの木学園）
小手指小学校	S44 1969	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（小手指地区体育館、小手指保育園、小手指児童クラブ、小手指まちづくりセンター） ◎同時期に検討（小手指中学校）	
上新井小学校	S50 1975	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			③複合化（小手指公民館分館、小手指サービスコーナー、西所沢保育園、上新井児童クラブ、第二上新井児童クラブ、峰寿荘）
北野小学校	S55 1980	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（北野児童クラブ、こてさし荘） ◎同時期に検討（北野中学校）
北中小学校	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備、受変電設備）		②長寿命化改修	③複合化（こばと児童館）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
山口小学校	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			③複合化（山口西保育園、山口児童クラブ、山口まちづくりセンター） ◎同時期に検討（山口中学校）
泉小学校	S48 1973	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備）			③複合化（山口保育園、泉児童クラブ、さくら荘）
椿峰小学校	S57 1982	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰コミュニティ会館、椿峰コミュニティ会館別館、図書館椿峰分館、つばき児童館、椿峰児童クラブ） ◎同時期に検討（上山口中学校）
三ヶ島小学校	S42 1967	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備）	③複合化（三ヶ島地区体育館、三ヶ島保育園、三ヶ島児童クラブ、こあふる、みかじま荘、三ヶ島まちづくりセンター） ◎同時期に検討（三ヶ島中学校）		
若狭小学校	S47 1972	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（狭山ヶ丘サービスコーナー、狭山ヶ丘コミュニティセンター、図書館狭山ヶ丘分館、さやまが丘保育園、すみれ児童館、若狭児童クラブ、さやまがおか荘）	

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
林小学校	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			③複合化（わかば児童館、林児童クラブ）
宮前小学校	S53 1978	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（宮前児童クラブ） ◎同時期に検討（狭山ヶ丘中学校）
所沢中学校	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
向陽中学校	S47 1972	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	◎同時期に検討（西富小学校）		
美原中学校	S49 1974	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、ポンプ・水槽類、非常放送設備、自動火災報知設備）			◎同時期に検討（美原小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
中央中学校	S54 1979	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		◎同時期に検討（並木小学校）
南陵中学校	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		◎同時期に検討（南小学校）	
東中学校	S47 1972	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）			◎同時期に検討（牛沼小学校）
安松中学校	S57 1982	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備）	②長寿命化改修		◎同時期に検討（和田小学校）
柳瀬中学校	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修			◎同時期に検討（柳瀬小学校）
富岡中学校	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		◎同時期に検討（富岡小学校）	

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
小手指中学校	S43 1968	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		◎同時期に検討（小手指小学校）	
北野中学校	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		◎同時期に検討（北野小学校）
山口中学校	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）			◎同時期に検討（山口小学校）
上山口中学校	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	◎同時期に検討（椿峰小学校）
三ヶ島中学校	S42 1967	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	◎同時期に検討（三ヶ島小学校）		

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
狭山ヶ丘中学校	S55 1980	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		◎同時期に検討（宮前小学校）

②その他教育施設

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
第1学校給食センター	S54 1979	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数
第3学校給食センター	S50 1975	I類	学校給食センター再整備事業により更新（R6/2024運営開始）予定			
教育センター	S56 1981	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数

(5) 子育て支援施設

①保育園

施設名	建築年度	構造種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
西所沢保育園	S50 1975	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（上新井小学校）
西新井保育園	S63 1988	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（牛沼小学校）
小手指保育園	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		③複合化（小手指小学校）	
吾妻保育園	S52 1977	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修	③複合化（南小学校）	
新所沢保育園	H19 2007	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ③複合化（北小学校）
富岡保育園	H27 2015	II 類	①予防保全（ポンプ・水槽類、空調・換気設備）		③複合化（富岡小学校）	
山口保育園	H2 1990	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（泉小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
松井保育園	H14 2002	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（若松小学校）	
柳瀬保育園	H9 1997	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、昇降機）			②長寿命化改修 ③複合化（東所沢小学校）
所沢保育園	S45 1970	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修		③複合化（所沢小学校）	
三ヶ島保育園	S45 1970	II 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備） ②長寿命化改修	③複合化（三ヶ島小学校）		
北所沢保育園	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（美原小学校）
さやまが丘保育園	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修	③複合化（若狭小学校）	
松郷保育園	S47 1972	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（和田小学校）

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
山口西保育園	S47 1972	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（山口小学校）
北秋津保育園	S49 1974	I類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（北秋津小学校）
中新井保育園	S49 1974	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（中央小学校）
安松保育園	S52 1977	I類	①予防保全 ※I期中に対象となる部位なし	②長寿命化改修		★目標使用年数
並木保育園	S56 1981	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（並木小学校）

②児童館・児童クラブ

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
ひばり児童館	S52 1977	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修 ③複合化（明峰小学校）		
こばと児童館	S54 1979	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（北中小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
つばめ児童館	H11 1999	II 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修	③複合化（南小学校）	
つばき児童館 （椿峰コミュニティ会館別館）	S56 1981	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰小学校）
すみれ児童館	S56 1981	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若狭小学校）	
さくら児童館 （並木まちづくりセンター）	S57 1982	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（中央小学校）
わかば児童館	S60 1985	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（林小学校）
まつば児童館	S62 1987	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（松井小学校）
みどり児童館 （新所沢まちづくりセンター）	H23 2011	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備）			②長寿命化改修 ③複合化（北小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
みどり児童館別館 (新所沢コミュニティセンター)	S62 1987	I 類	①予防保全(屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備)	③複合化(清進小学校)		
やなぎ児童館	H2 1990	I 類	①予防保全(屋上・屋根、外壁、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備)		②長寿命化改修	③複合化(柳瀬小学校)
ひかり児童館 (中富南コミュニティセンター)	H7 1995	I 類	①予防保全(屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備)			②長寿命化改修 ③複合化(中富小学校)
所沢児童クラブ	H4 1992	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修	③複合化(所沢小学校)	
第二所沢児童クラブ	H21 2009	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		③複合化(所沢小学校)	
明峰児童クラブ	H6 1994	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修 ③複合化(明峰小学校)		
北秋津児童クラブ	H5 1993	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化(北秋津小学校)

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
荒幡児童クラブ	H15 2003	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（荒幡小学校）
伸栄児童クラブ	H5 1993	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修	③複合化（伸栄小学校）	
美原児童クラブ	H4 1992	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（美原小学校）
第二美原児童クラブ	H21 2009	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（美原小学校）
並木児童クラブ	H30 2018	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			③複合化（並木小学校）
松井児童クラブ	H8 1996	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（松井小学校）
若松児童クラブ	H3 1991	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修	③複合化（若松小学校）	
安松児童クラブ	H12 2000	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（安松小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
和田児童クラブ (和田小学校)	H6 1994	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ③複合化（和田小学校）
牛沼児童クラブ	H5 1993	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（牛沼小学校）
東所沢柳瀬児童クラブ	H9 1997	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（東所沢小学校）
第二東所沢柳瀬児童クラブ	H20 2008	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（東所沢小学校）
富岡児童クラブ	H4 1992	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施	②長寿命化改修	③複合化（富岡小学校）	
西富児童クラブ	H19 2007	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ必要な箇所について実施	③複合化（西富小学校）		
中富小児童クラブ (中富小学校)	S46 1971	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（中富小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
小手指児童クラブ	H20 2008	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		③複合化（小手指小学 校）	
上新井児童クラブ	H13 2001	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（上新井小学 校）
第二上新井児童クラブ	H22 2010	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（上新井小学 校）
北野児童クラブ	H5 1993	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施 ③複合化（北野小学校） ※既存施設への複合化	②長寿命化改修		③複合化（北野小学校）
山口児童クラブ	H14 2002	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（山口小学校）
泉児童クラブ （泉小学校）	S48 1973	I 類	①予防保全（屋上・屋 根、外壁、ポンプ・水槽 類、空調・換気設備、自 動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（泉小学校）
椿峰児童クラブ （椿峰小学校）	S57 1982	I 類	①予防保全（屋上・屋 根、外壁、ポンプ・水槽 類、空調・換気設備、非 常放送設備、自動火災報 知設備）		②長寿命化改修	③複合化（椿峰小学校）
三ヶ島児童クラブ	H4 1992	II 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修 ③複合化（三ヶ島小学 校）		

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
若狭児童クラブ	H17 2005	I類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		③複合化（若狭小学校）	
林児童クラブ	H12 2000	II類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施	②長寿命化改修		③複合化（林小学校）
宮前児童クラブ	H15 2003	II類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	③複合化（宮前小学校）

(6) 保健・福祉施設

①高齢者福祉施設

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
老人福祉センターうしぬま荘	S55 1980	I類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		③複合化（牛沼小学校）
老人福祉センターあづま荘	S57 1982	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（荒幡小学校）
老人福祉センターさやまがおか荘 （狭山ヶ丘コミュニティセンター）	S58 1983	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若狭小学校）	

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
老人福祉センター緑寿荘 (新所沢コミュニティセンター)	S62 1987	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（清進小学校）		
老人憩の家さくら荘	S50 1975	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）	②長寿命化改修		③複合化（泉小学校）
老人憩の家とめの里	S53 1978	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修	③複合化（伸栄小学校）	
老人憩の家やなせ荘	S59 1984	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（柳瀬小学校）
老人憩の家峰寿荘	S61 1986	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（上新井小学校）
老人憩の家みかじま荘	H2 1990	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	③複合化（三ヶ島小学校）		
老人憩の家こてさし荘	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ③複合化（北野小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
老人憩の家とみおか荘	H10 1998	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）		③複合化（富岡小学校）	
老人憩の家ところ荘	H12 2000	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（明峰小学校）		
老人ホーム亀鶴園	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
ところ荘老人デイサービスセンター（老人憩の家ところ荘）	H12 2000	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備）	③複合化（明峰小学校）		
新所沢けやき通り老人デイサービスセンター	H13 2001	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数

②障害福祉施設

施設名	建築年度	構造種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
キャンパス	H3 1991	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		③複合化（富岡小学校）	
はばたき	H6 1994	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		③複合化（若松小学校）	
きぼうの園	S60 1985	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若松小学校）	
ゆきわり草	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
こあふる	H8 1996	II 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）	③複合化（三ヶ島小学校）		
所沢サン・アビリティーズ	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（松井小学校）
プロペラ	H13 2001	II 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備、ポンプ・水槽類、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（柳瀬小学校）

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
松原学園	H23 2011	I類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備）			③複合化（中富小学校）
かしの木学園	S60 1985	I類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（中富小学校）

③その他の保健・福祉施設

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
保健センター	H9 1997	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
こどもと福祉の未来館	H28 2016	I類	①予防保全 ※I期中に対象となる部位なし			②長寿命化改修 ★目標使用年数

48

(7) 病院施設

施設名	建築年度	構造種別	I期 (R3/2021~R12/2030)	II期 (R13/2031~R22/2040)	III期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
市民医療センター	S51 1976	I類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数

(8) 行政系施設 ※小手指公民館分館含む

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢市役所本庁舎	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機）		②長寿命化改修	★目標使用年数
松井まちづくりセンター	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（松井小学校）
富岡まちづくりセンター	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		③複合化（富岡小学校）	
小手指まちづくりセンター	S63 1988	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、昇降機、ポンプ・水槽類、非常放送設備）		③複合化（小手指小学校）	
小手指公民館分館	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（上新井小学校）
山口まちづくりセンター	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、ポンプ・水槽類、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ③複合化（山口小学校）

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
吾妻まちづくりセンター	S63 1988	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（荒幡小学校）
柳瀬まちづくりセンター	H3 1991	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）			②長寿命化改修 ③複合化（柳瀬小学校）
三ヶ島まちづくりセンター	H5 1993	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）	③複合化（三ヶ島小学校）		
新所沢まちづくりセンター	H23 2011	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備）			②長寿命化改修 ③複合化（北小学校）
新所沢東まちづくりセンター	S52 1977	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備）	②長寿命化改修		③複合化（美原小学校）
所沢まちづくりセンター	H21 2009	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		③複合化（所沢小学校）	

施設名	建築年度	構造種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
並木まちづくりセンター	S57 1982	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、昇降機、非常放送設備、自動火災報知設備、非常用発電設備）		②長寿命化改修	③複合化（中央小学校）
狭山ヶ丘サービスコーナー （狭山ヶ丘コミュニティセンター）	S58 1983	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修 ③複合化（若狭小学校）	
小手指サービスコーナー （小手指公民館分館）	S59 1984	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	③複合化（上新井小学校）

(9) 公営住宅

施設名	建築年度	構造種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
市営住宅上安松団地	S63 1988	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
市営住宅西所沢北団地	S44 1969	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備） ②長寿命化改修		★目標使用年数	
市営住宅西所沢稻荷団地	S51 1976	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備、自動火災報知設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
市営住宅宮本町団地	H8 1996	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備、昇降機）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
市営住宅泉町団地	H4 1992	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
市営住宅久米団地	H2 1990	I 類	①予防保全（外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
市営住宅東所沢和田団地	H6 1994	I 類	①予防保全（屋上・屋根、ポンプ・水槽類、受変電設備、昇降機）			②長寿命化改修 ★目標使用年数
市営住宅松郷団地	S42 1967	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備） ②長寿命化改修		★目標使用年数	
市営住宅愛宕山団地	S45 1970	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備） ②長寿命化改修		★目標使用年数	
市営住宅並木団地	S55 1980	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、受変電設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数

(10) 公園施設

表示対象施設なし

(11) 廃棄物処理施設

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
東部クリーンセンター (※)	H14 2002	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数
西部クリーンセンター (※)	S63 1988	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施		②長寿命化改修	★目標使用年数
収集管理事務所	H19 2007	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数
リサイクルふれあい館	H14 2002	I 類	①予防保全 (屋上・屋 根、外壁、受変電設備、 非常放送設備、自動火災 報知設備)			②長寿命化改修 ★目標使用年数
衛生センター	H23 2011	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数

53

※クリーンセンターの建物の更新については、固有の設備（プラント等）の更新時期等を考慮し、実施することになります。

(12) その他

施設名	建築 年度	構造 種別	I 期 (R3/2021~R12/2030)	II 期 (R13/2031~R22/2040)	III 期 (R23/2041~R32/2050)	R33/2051年以降
所沢市斎場	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、ポンプ・水槽類、空調・換気設備、受変電設備、非常放送設備、自動火災報知設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
狭山ヶ丘第1自転車駐車場	S55 1980	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備）	②長寿命化改修		★目標使用年数
狭山ヶ丘駅東口第1自転車駐車場	H11 1999	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数
喜多町自転車駐車場	S61 1986	I 類	①予防保全（屋上・屋根、外壁、空調・換気設備、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
東所沢駅第1自転車駐車場	S62 1987	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
東所沢駅第2自転車駐車場	S62 1987	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
東所沢駅第3自転車駐車場	S62 1987	I 類	①予防保全（外壁、空調・換気設備、受変電設備）		②長寿命化改修	★目標使用年数
東所沢駅第4自転車駐車場	H12 2000	I 類	①予防保全 ※部位情報を確認のうえ 必要な箇所について実施			②長寿命化改修 ★目標使用年数

3-2 対策費用の試算

(1) 試算条件

本計画に基づく対策費用（更新・修繕）の試算を行いました。試算にあたっては、対策の効果を検証するため、次の2つの試算シナリオで実施しています。

条件	内容
①標準シナリオ	現在保有する施設を同等規模で更新等を行う。（廃止予定施設除く） ◎建築から30年で大規模改修、60年で更新
②長寿命化シナリオ	長寿命化ロードマップに基づき長寿命化や複合化、更新等を行う。

(2) 対策費用の試算結果

計画期間30年間の対策費用の試算結果は次のとおりです。本計画による対策（長寿命化ロードマップ）により、対策費用の平準化が見込まれます。

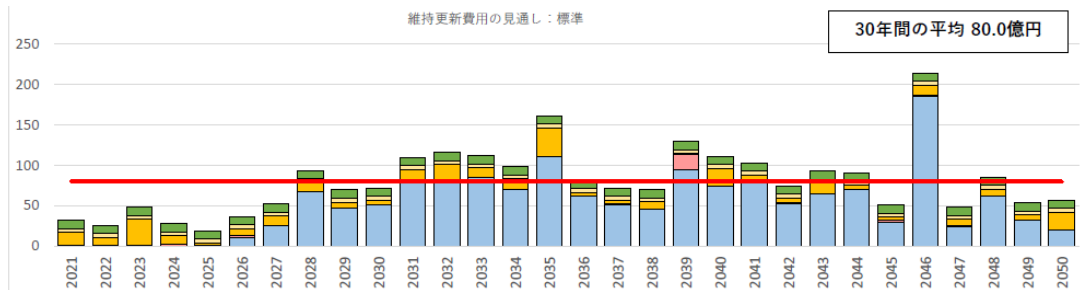
①標準シナリオ・・・平均80.0億円/年（約2,401億円/30年）

②長寿命化シナリオ・・・平均40.1億円/年（約1,203億円/30年）

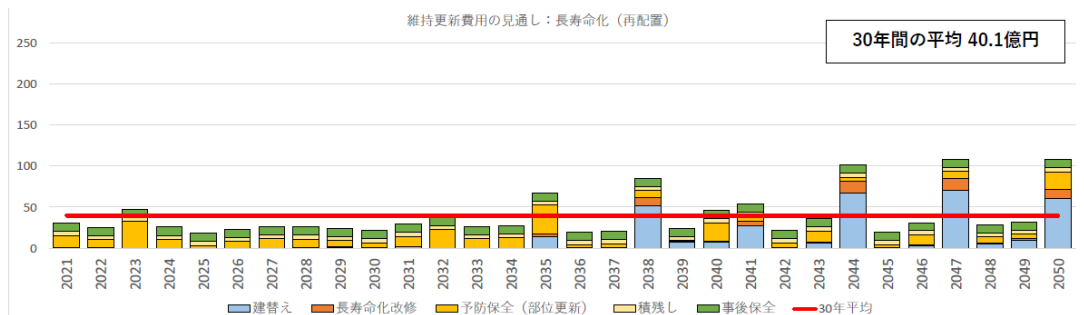
※平成22（2010）年度から令和元（2019）年度までの対策費用の平均約42.5億円/年

【対策費用の試算結果グラフ】

①標準シナリオ



②長寿命化シナリオ



※本試算は、国の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針（平成30（2018）年2月27日改訂）」における公共施設等の維持管理・更新等に係る中長期的な経費の見込みに該当します。

第4章 推進方針

4-1 計画的な人員と予算の確保

(1) 人員の確保と育成

本計画の推進にあたっては、技術的・事務的の両面において、専門的かつ高度な技能を有する職員を確保・育成していきます。

(2) 必要となる経費の確保

本計画の確実な実行及び災害の発生など計画外の突発的な事象が生じた場合においても柔軟な対応が可能となるように、基金等の仕組みの導入を検討し、今後必要となる経費を計画的に確保します。

また、総量適正化の取組により生じた施設跡地等は、あらかじめ次の用途が決定している場合を除いて、原則売却することとし、その売却益は基金等に積み立てていくことを検討します。

(3) 国、県等からの財源の活用

国、県等の補助や起債等を活用することにより、必要な財源の確保と財政負担の平準化を図ります。

(4) PPP/PFI 事業の検討

公共施設の設計、建設、維持管理、運営等において、民間事業者の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、市民へのサービスの向上と効率的な行財政運営が期待できる事業については、「所沢市PFI導入ガイドライン」に基づき、PPP/PFIの導入を検討します。

4-2 計画の推進

(1) 情報の一元管理

本計画の実行及び進行管理に必要となる公共施設の基本情報、部位情報、工事履歴、点検結果、利用情報等は公共施設マネジメントシステムを使用し、一元的に集約管理します。

(2) 進捗管理

市では、SDGs への貢献を見据え、持続可能な行政経営を進めています。本計画の推進にあたっては、PDCA サイクルにより進捗管理を行います。

また、毎年度の施設の維持管理費用や「短期予防保全計画」の実行状況を公共施設マネジメント会議に報告し、進捗状況に応じて、必要な見直しを行います。



所沢市公共施設長寿命化計画

令和3（2021）年3月

発行 所沢市 経営企画部 経営企画課

〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1

電話：04-2998-9027

FAX：04-2994-0706

Eメール：a9027@city.tokorozawa.lg.jp